

「日本経営診断学会第49回全国大会」報告希望者募集について(お知らせ)

2016年度の日本経営診断学会第49回全国大会は、「IoT時代の経営診断—ものづくりとサービスのパラダイムシフト—」を統一論題として、2016年10月7日(金)～10月9日(日)の日程で、愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス(名古屋市千種区)にて開催することになりました。ご報告を希望される会員は、下記の要領にしたがってお申込み下さい。

1. 開催日程

10月7日(金)	午後	理事会、各種委員会
10月8日(土)	午前	自由論題報告、大学院生報告、診断事例報告
	午後	特別講演、統一論題報告、会員総会、学会賞表彰式、大学院生報告優秀賞表彰式、診断事例報告表彰式、懇親会
10月9日(日)	午前	自由論題報告
	午後	共同プロジェクト研究報告

※1 「大学院生報告」、「診断事例報告」については8日(土)を予定しております。

※2 報告者数、講演者の都合により一部日程に変更が生じる場合があります。

※3 開催当日はF1開催と重なっており、名古屋市内の宿泊予約が取りにくくなる可能性があります。宿泊を希望される方は早めに宿泊予約をお取りください。

2. 報告申込み要領

- (1)学会HP内の第49回全国大会HPより報告申込書をダウンロードし、E-mailの添付ファイルにて大会実行委員会宛(2016keieishindan@gmail.com)までお送りください。
- (2)報告申込みの期限は、5月9日(月)とします。期日は厳守して下さい。報告希望者が多数の場合、審査の上、報告できない場合もあります。また、統一論題報告についてはテーマに関わるご報告をお願いします。なお統一論題報告希望者が多数の場合には、自由論題でのご報告をお願いすることもありますので、予めご了承下さい。
- (3)報告申込み受付後、大会実行委員会から申込み受付の連絡をいたします。5月16日(月)までに返信がない場合は、お手数ですが大会実行委員会までお問い合わせ下さい。
- (4)原則として、発表者は全員、本学会会員および入会手続き中の方とします。

3. 報告申込み締切 2016年5月9日(月)

4. 報告者の決定、「予稿集原稿作成依頼」の連絡 2016年5月20日

E-mailにてご連絡致します。報告者の決定および予稿集原稿作成依頼のご連絡から予稿集原稿の提出締切りまであまり時間ありませんので、報告希望者はあらかじめ予稿集原稿のご準備をお願い致します。

5. 予稿集原稿の提出締切 2016年6月30日(木)

予稿集の原稿につきましては、学会ホームページより「論文テンプレート」をダウンロードし、これに基づいて執筆して下さい。予稿集は打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、論文テンプレートに従って丁寧に作成して下さい。原稿の提出は、E-mailの添付ファイルでお送りください(WordまたはPDFファイル)。

大会実行委員会への予稿集原稿の提出をもって、正式に報告申込みの受理となりますので、期日は厳守して下さい。期日までに予稿集原稿が到着しない場合には、報告は取消し

とさせていただきます。

なお、大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される場合は、書類審査（事前審査）のための「論文」（A4用紙 36 字×30 行で 6 ページを添付ファイル提出、図表等も 6 頁に収めること）をお送り下さい。また「論文」には、申請区分を明記してください。大学院生優秀賞審査希望の場合も、上記「論文」が期日の 6 月 30 日（木）までに到着しない場合、大学院生報告優秀賞表彰の対象とはなりません。また、当日審査における報告内容と「論文」が著しく異ならないように十分注意してください。

6. 大学院生報告優秀賞表彰に関して

大学院生報告の優秀賞表彰は 3 つの申請区分（「一般院生部門」、「留学生部門」、「社会人院生部門」）を設けておりますので、申込時に該当部門をお知らせください。

今回の大学院生報告優秀賞表彰は、これまでの全国大会と同様、論文審査と発表審査の 2 段階となり、論文審査で表彰候補者を絞り、その候補者のみを発表審査いたします。発表審査候補者の公表はいたしません。また、大学院生報告優秀賞表彰式への参加も必須条件となりますのでご注意ください。以下に書類審査（事前審査）と発表審査（当日審査）の評価項目を示しますので、ご参照ください。

【書類審査（事前審査）評価項目】

評価項目	項目内容
独自性	A 研究内容の新規性、B 研究成果・知見の明確性、C 新領域開拓の期待性
論理性	A 誤字、脱字の状況、B 先行研究の渉猟性、C 精深かつ体系的知識性など
形式性	A 起承転結・三段論法など論文形式、B 現状分析・課題認識・改善策などの明確性、普遍的命題から個別的事例の命題を検討する演繹法、個別事例から法則性を見出す帰納法などの論文構成、C 文献・雑誌・統計資料の引用や明示の文献妥当性など

【発表審査（当日審査）評価項目】

評価項目	項目内容
説得性	A 時間配分・テンポの適切性、B 言葉の明確性、C 報告資料の作成・利用状況など
整合性	A 主題と結論の整合性、B 主題と章・節の整合性、C 発表内容が歴史研究・理論研究・実証研究・事例研究の中のどれと整合性を取れているかなど

7. 大会開催案内・大会プログラムの発送 2016 年 7 月下旬

【報告申込みおよびお問い合わせ先】

日本経営診断学会第 49 回全国大会実行委員会プログラム編成 吉成 亮(愛知工業大学)
電話 052 (757) 0810 内線 405 FAX 052 (751) 0600
第 49 回全国大会 HP <http://se.web.nitech.ac.jp/jmda2016/>
E-mail: 2016keieishindan@gmail.com